

## 平成 25 年度予算の概要

### (1) 予算編成方針について

1. 学校法人を取巻く経営環境の悪化が進む中、社会に必要とされる女子大学として、時代の要請に応える教育・研究に向けた改善を図りながら、健全な財政状態と経営成績を維持していきます。①短期的には崩れつつある収支バランス改善の為の種々の施策（下述 6. 7.）を行い、一方で、②中長期的には、経営と教学両面に亘り本学存続に向けた取組み（将来構想のグランドデザイン）への道筋を具体的に策定する年度と位置づけます。
2. 平成 25 年度はキャンパス再編の取組み 3 年目として、2 号館（教室棟）、ラファエラホール（学生活動の部室）、5 号館（修道院）等の大規模改修工事を実施します。
3. 健全な財務体質の維持のため、引き続き次の数値管理を原則とします。
  - 1) 現時点での帰属収入の 8 割相当額を手元流動資金として確保します。
  - 2) 人件費比率（每期帰属収入に対する人件費の割合）を 50% 台に留めます。
4. 教職員数（専任）
  - 1) 教員は平成 24 年度 50 名に対し、退職者補充により 51 名となります。
  - 2) 職員は平成 24 年度 48 名に対し、46 名となります。
5. 入学者数  
文学部及び大学院ともここ数年来の入学者実数に合わせます。
6. 収入増への取組み  
学納金収入のみに頼るのではなく、中長期的な収入の多様化に向け、検討を始める年度とし、具体的には次の事項を挙げます。
  - 1) 今後、中長期的な募金計画の検討を始めます。  
将来構想のグランドデザインをはじめ大学の様々な取組みや行動に対し、支援者より大学への寄付という形で評価を得られるよう、具体的に募金活動を企画・立案していきます。
  - 2) 補助金獲得は増額を目指します。平成 25 年度補助金は大学改革に向けた組織的・体系的な取組みを経常費・施設費・設備費を一体として支援する傾斜配分が見込まれます。キャンパス再編に伴う大規模改修工事や将来構想のグランドデザインへの取組みを進めながら、関係部署が財務課・理事長室と連携しながら大学全体で補助金申請を行います。
7. 支出減への取組み
  - 1) 人件費削減
    - ① 職員人事制度導入（年功型給与体系を改め、個人の役割責任と実力に応じた仕組みを設け、職員業務力の向上を目指す）により、中長期的に固定費増

の歯止めをかけていきます。

② 教員人件費の見直し(担当コマ数見直し/非常勤講師削減等)を行います。

## 2) 教育研究・管理経費削減

消費税増税により、教育研究・管理経費支出及び施設・設備関係支出額が平成26年4月より3%、平成27年10月より5%増え、其々の年度で、30百万円、50百万円の支出増となります。教育研究や学生支援につながる経費の充実は大事だが、適切な予算編成と執行を行い、全ての支出に対して妥当かどうか査定(予算案については当該部署だけでなく課室長会議での共通話題とする等)を行いながら節約に努めていくことが必要であります。

① 図書費を40百万円から30百万円に減額します。

② 高額になる情報関係、施設・設備関係支出は、無駄や二重投資を避けるために、厳格なる手順を踏み実施していきます。

③ 全部署での業務委託費の中身を見直し、費用低減を行います。

## 8. 基本金組入れ

1号基本金(建物改修工事、図書、備品)、2号基本金(1号館建替に備えた積立)、及び3号基本金(学生厚生基金等)を合わせ、総額6億55百万円の組入れを見込みます。

### (2) 消費収支予算

平成25年度消費収支予算は、帰属収入合計25億2,089万6千円、これに基本金組入額6億5,523万5千円を差し引いた消費収入の部合計は、18億6,566万1千円になります。一方、消費支出の部合計は25億5,842万4千円となり、消費収支戻は6億9,276万3千円の支出超過となる見込みです。これに前年度繰越消費支出超過額30億4,650万円を加えた翌年度繰越支出超過額は、37億3,926万3千円となり前年度比4億7,725万5千円増となる見込みとなります。

前年度予算との対比では、帰属収入は前年度比3,206万2千円の増加となる見込みです。平成25年度はキャンパス再編に関わる3年計画の3年目にあたり2号館とラファエラ棟の改修工事を計画しておりますが、基本金組入額は前年度比1億1,349万6千円増加するために、消費収入の部合計は前年度比8,143万4千円の減少となる見込みです。一方、消費支出の部合計は、教育研究経費のうち修繕費が1億475万6千円減少の見込みなので、前年度比1億6,103万9千円減少します。この結果、当年度消費支出超過額は、6億9,276万3千円となり前年度比7,960万5千円減となる見込みです。

### (3) 資金収支予算

平成25年度資金収支予算は、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計は53億

7,332万4千円となり前年度比3億5,470万7千円の減少となる見込みです。これは前年度繰越支払資金が前年度比3億9,915万1千円減少したことによります。

これに対して、支出の部では、改修工事等に関する修繕費支出の減少により、当該年度支出合計は35億1,819万4千円となる見込みです。この結果、次年度繰越支払資金は、18億5,513万円となる見込みです。

(財務担当理事 経塚 淳)